

令和6年度 串間市立本城小学校 学校関係者評価書

※ 評価・・・大変良い 4点 良い 3点 もう少し 2点 改善を要する 1点

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況および対策） ＜児、保、教は、それぞれのアンケートの肯定的割合＞	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1) 学びに向かう力を育むための授業改善	①「ひなたの学びの充実	＜児100、保58、教80＞ 「一人一人が問いをもち」「なかまとなって学び合い」「たかめよう深く考える力」がひなたの学びの姿である。授業では児童、教師ともにそれらを意識した授業を展開している。保護者にその意識が十分浸透していないことが保護者アンケートの肯定的な数値の低さになっていると考えられる。	3	3	○児童評価が相当高いのに、保護者の評価が低いのが気になります。もっと高みを目指しているからでしょうか？ ○「一人一人が問いを持つ」「たかめよう深く考える力」。言葉は平易なのですが、難解な内容ではないでしょうか。保護者もいまいち消化できていないのが、浸透というより理解不足ととらえるべきだと思います。素晴らしい手立てですので今後も継続していただき、内容を噛み砕いて児童、保護者により分かってもらえるといいですね。 児童への設問1は分かりやすくして良い。 ○児童、教師が「ひなたの学び」について理解しているようですから、問題はないかと思います。保護者へはことあるごとに啓蒙してください。 ○保護者の評価がかけ離れて低い評価と成っているのが気がかり。「ひなたの学び」の趣旨の保護者理解度なのか？評価対象場面が学校なのか、家庭なのかで異なるのでは？授業参観出席率は高いのでしょうか？ ○子どもの意識を尊重してほめて、学習意欲を伸ばしてほしい。
		②複式指導の研究	＜児96、保89、教100＞ 複式指導解消のために、学級担任、複式解消専科教員、管理職で教科の分担をし、単式での授業を増やしている。職員研修では、複式の授業のあり方について、研究授業を行い、指導方法の研究に努めた。上学年の児童について、自分たちで学習を進めるガイド学習が身についてきている。タブレットを使った授業にも慣れてきており、今後さらなる授業改善に臨む。	3	3.5	○普段の様子を見る機会はありませんが、関係者会議時の参観で先生方が工夫して楽しく分かりやすく授業されている雰囲気を感じられます。児童たちのなかの良さもいいですね。 ○児童への設問2、保護者への設問2。特に児童への「先生はわかりやすく教えてください」この設問と回答が全ての現状を表している。教師のひたむきな姿も見える。 ○全学年複式学級とは言え、校長先生、教頭先生が積極的に授業を受け持っておられる姿に、敬服しています。 ○複式指導は、先生方も大変苦労されている様子を拝見している。本校ではまだ歴史が浅く、また、職員研修意欲も持たれていて安心しています。更なる改善を期待します。 ○複式指導は大変うまくいっていると感じています。先生方の努力を感じています。 ○大変な複式授業を、いろいろな研究を重ねられながら取り組んでおられる様子、素晴らしいことともいます。 ○管理職の方が取り組む姿がよく見えています。
		①立腰指導の徹底	＜児88、保68、教60＞ 授業ははじめの姿勢はよいが、時間がたつと徐々に姿勢が乱れてくる。背筋が曲がっていたり足が床についていなかったりと、よい姿勢の保持に課題が残る。保護者も同様のことを認識しており、参観日等で姿勢の意義について共通理解し、同じような指導を学校でも家庭でも行っていく。	2	2.5	○先生のご指摘の通りだと思います。児童に限らず、若い大人たちにも見られるように、スマホやタブレットを見る習慣の影響もあるのでしょうか。] ○立腰が良いと何か良いことあるの？ 学びには良い姿勢が必要。昨年にも「姿勢が良いとこんなに成績が上がるよ」どう意義付けされているのでしょうか。メリット・意義をさらに強調することで、未来の自分がどうなるか、単に姿勢を良くしましよと教えるより、より成果があるのでは。 ○姿勢の乱れは、学習への集中度が低くなった現れだと思います。メリハリを付けると効果的かも。 ○子供たちの集中力維持はあまり長くないかと考える。1時限の間での運動や姿勢の見直しが必要ではないでしょうか。また、学校のための訓練では困難で、家庭と連携した教育及び訓練が必要と感じる。姿勢管理は健康維持を含め一生の取組と心得る大事にしたい。 ○学校だけではなく家庭での保護者の指導も必要です。 ○姿勢は大事なことと思います。 ○家庭でのしつけが大事です。
		②家庭学習の定着	＜児92、保89、教100＞ 各学年ともに担任が工夫をして家庭学習に取り組ませている。ほとんどの家庭は家庭学習の習慣が身についている。今後も家庭と協力し継続して取り組ませたい。	3	3	○児童・保護者共に評価が高いので、3,5 ○昨年は自己評価が4。今年は同じく「家庭学習の習慣がみについている」にも拘わらず自己評価が3に下がりましたが何故でしょう。私は4でよいと考えます。 ○ここは問題ないかと・・・ ○三者ともに高評価で有り素晴らしい。持続することを願います。 ○三者が100%になるのも近いです。

	(2) 学ぶ意欲の育成	③読書活動の充実 (月一人平均4冊以上)	＜児88、保42、教80＞ 学校では、読書の時間を設けたり市立図書館からの移動図書貸し出しをしたりと、読書に親しむ様子が見られる。また図書館キャラクターを考案したり多読賞の設定など、図書委員会の活動も活発に行ってきた。保護者の評価が低いことから、家庭で本を読む習慣があまりないのではないかと考えられる。	2.5	3	○読書週間は、学習意欲を育て学力の向上にもつながり、大切なことです。図書室にマスコットをを作って部屋に入るのが楽しみで、読書機会が増えるよう期待しています。保護者の方も、週一とか日にちを決めて一緒に読書の機会があるといいでしょうね。 読書は児童昨年74%→88。保護者同55%→42。教師83%→80。児童の自己評価のみアップ。周りはダウンと厳しい数値。月平均4冊以上のバーはクリアできたのでしょうか。 ○家庭での読書ができていないのは、幼児期の読み聞かせができてこなかったのでしょうか。読書を通じて獲得する言語は、思考の源なのでぜひ家庭での読書時間を延ばしてほしいものです。 ○近年スマホやタブレット等の普及で読書の時間が減ってきている。これは大人にも言えること。読書は思考力を育てる唯一の手段、保護者の協力を得ながら進めたい。 ○家で何冊読んでいるかわかるといいですね。 ○学校では読書は児童も先生方も評判がいいが、家庭では読書の時間がとれないのでは？宿題とかスポーツ少年団、習い事などのため。 ○家庭でのゲーム、テレビの時間が長すぎるのではないかな？
		④新聞等メディアへの積極的投稿	＜児88、保84、教80＞ 表現力の向上や作文への意欲付けをねらいとして、新聞への投稿を続けている。本年度新聞掲載数は17作品（1月8日現在）である。また、学校便りにも児童の作文を掲載しており、保護者はもとより地域の方からも励ましの電話をいただいた。	3.5	4	○本城の風第9号を送っていただき、色々なできごとを楽しく紹介され、とても嬉しいです。どのコーナーもカラーでよく伝わりました。その中で表彰や紹介記事のほか、作文紹介があり、低学年でもよくよく見学の内容を捉えて大人顔負け作文に感動しました。みんな一緒に学び、表現することを期待しています。 ○令和2年8件、昨年30件、今年17件、少し露出度が減りましたが、引き続き指導よろしく願いいたします。楽しみにしています。 ○思考を言語化する「書く」という作業は、コミュニケーション能力の向上に大変寄与します。ぜひこのまま伸ばしてほしいものです。串間市文化協会が秋に実施する神戸雄一詩碑祭もよろしく願いします。 ○新聞掲載17作品は本当に素晴らしい。先生方の指導は勿論のこと児童の投稿意欲も感じられ、内容も素晴らしいものが多い。作文力は、社会生活に於いても大事なもので有り励んでもらいたい。 ○掲載された作文を見ると、とてもうれしいですね。 ○楽しく読んでいます。子どもたちの日頃の様子が見えるようです。 ○新聞を見るのが楽しみです。
	(1) 望ましい人間関係の醸成	①いじめアンケートと教育相談の実施	＜児88、保68、教100＞ 毎月「悩みアンケート」を実施し、児童の悩みを理解したりいじめを早期発見したりした。毎月のアンケート内容について、全職員で対応を協議したり今後の指導方法の共通理解を図ったりした。また、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携を図り、児童への対応の仕方について役割分担をし、適宜アドバイスをいただきながら児童の指導に当たることができた。	3	4	○普段に接していないので的確な評価はできませんが、先生の日や思いをくんでの点数です。 ○教師の自己評価100%が如実に自信を表しています。ただ、保護者は68%で数字だけ見ると、違和感が残ります。児童にストレートに「いじめを見たり聞いたりしたことがありますか」と質問項目設けるのはタブーですか。 ○保護者、教師の評価は高評価ですが、三人の児童が評価にCとDを付けているのが気になります。いじめの実態はなかなか顕在化しにくいものと考えますので、配慮をお願いします。 ○保護者アンケート結果によるとA評価＝7、B評価＝6で判定評価は100%ではないでしょうか？相対的には対応が良くできていると思います。ただ、児童のD評価者が1名存在します充分注意して対応願います。 ○児童88%は先生方の努力があったからだと思います。さらなる努力を願います。 ○児童も保護者も、アンケートでC、Dがなかったので安心しました。今後ともよろしくお願いします。
		②あいさつの奨励	＜児96、保84、教60＞ 児童の自己評価に対し、教師の評価とのギャップがある。学校ではあいさつをするが地域ではあいさつをしないという声も聞かれており、指導に苦慮している。学校だけでは解決しない課題であり、保護者への啓発を行い連携して指導しているがなかなか改善が見られないところである。	2	2.5	○校外で機会があったら、こちらから声をかけてみます。 ○挨拶は人生の基本。教師が指導に苦慮とのことですが、指導を継続していくことが大切です。 ○これは地域の方にも問題があるかもしれません。地域の方から積極的に児童に挨拶して欲しいと、伝えたいと思います。 ○他校区でもあいさつ奨励に問題を抱えている様子。挨拶はコミュニケーションの入口と考えられ、特に最近はコミュニケーション力欠如が目立ちます。頑張ってあいさつの奨励を推進しましょう。 ○今の時代、知らない人にあいさつしないと思います。大人の方から声かけすると、子どもたちも元気にあいさつしてくれると思います。 ○確かに朝のあいさつは大きな声で元気ですが、下校時とかちょっと少ないです。 ○家庭であいさつをする習慣を身につけるべきです。

2 心の育成		③道徳授業の充実	＜児100、保95、教100＞ 「考え議論する道徳科の授業」を目指し、毎週1時間計画的に授業を行った。参観日での道徳の授業の実施や学級通信等での発信により、保護者への情報提供にも務めてきた。今後も、道徳科の授業と日常生活を結びつけながら、学んだことを実践しようとする意欲と高めていきたい。	3.5	4	○参観時の道徳授業に触れ、真剣に向き合っている様子が伝わりました。先生方のご指導、感想のとおりだと思います。 ○道徳の授業を週1回行う等具体的手立てが工夫されている。この方向性で良いです。 ○道徳の授業を拝見し、授業が「自分事」として児童に受け入れられていると感じました。グリム童話の結末が残酷なのは、「自分だったら・・・」と子どもたちに考えさせるため。ぜひこれからも「自分事」として考えて、実践して欲しいと思います。（日本で出版されているほとんどのグリム童話は最後の部分を書き改められているのが残念です） ○躰に係る授業とを感じる。授業参観の場で素晴らしい授業風景を拝見している。大切に推進願いたい。 ○先生方の努力を感じます。これからもより一層の情報提供をお願いします。 ○外国人から日本人の道徳心は素晴らしいと評価されています。小さいことからの教育のたまものですね。これからもよろしく願います。
	(2) 校内美化と整理整頓	①無言清掃の徹底	＜児100、保89、教80＞ 少ない人数ながら、児童と教師と一緒に清掃をし、学校を少しでもきれいにしようとする姿が多く見られるようになった。	3.5	3.5	○児童と先生の清掃が一緒に気持ちを合わせているのが、丁寧な清掃につながっていると思います。 ○これで良いです。心清浄校内清浄。 ○私の小学生時代、800人弱の児童で掃除をしていた区域を、わずか30人程で掃除されているのですから、頭が下がります。 ○少人数で有ることで出来ることもあります。集中力向上に励みましょう。 ○少ない人数でよく頑張っていると思います。
		②トイレのスリッパ並べの徹底（整頓率85%）	＜児100、保95、教100＞ 1月15日現在トイレのスリッパ整頓率85%。児童トイレの整頓は目標を達成しており、児童の整理整頓に対する意識が高まっている。一方体育館トイレのスリッパの乱れは児童トイレより多く、いつでもどこでも整理整頓をする、次に使う人のことを考えるとといった指導を引き続き行う。	3	3.5	○先生方の判断を尊重します。 ○去年は自己評価が2。今年は自己評価が3に上がりました。整頓率85%クリアとのことですが、体育館の乱れは変わらないようです。引き続き引き続き「次に使う人のことを考える」指導に期待して3.5とします。 ○たしかに体育館のトイレのスリッパの乱れを感じることはありません。こういったところにも気づける子どもたちであって欲しいです。 ○美化的要素もあるが次の使用者の使い易さが生まれ、効率向上に役立つ。社会に出てからも求められる一面である。 ○先生方の指導の成果だと感じます。 ○時間に余裕がないのでは。
	(1) 体力づくり	①目標を立て運動に親しむ児童80%以上	＜児92、保79、教100＞ 5月の体力テストの結果を受けて、自分なりの目標を立てさせ運動に取り組ませている。昼休みには運動場に出て遊ぶ児童も多く、体育の授業でも各種運動に親しむ様子が見られた。運動に苦手意識のある児童もあり、体力の底上げを図るとともに、苦手なりに運動を楽しむことができる体育科の授業作りに取り組んでいく。	3	3.5	○運動に苦手意識があるのは、大人でも同じです。避けることなく、健康のためにも運動が楽しめるといいですね。 ○これで良いですが、自分なりにたてた目標をどうフォロー、追跡するのでしょうか。以前の新体力テストの方が具体的でよいのでは。 ○千野棒おどりの授業の時の子どもたちの積極的なことには、びっくりしました。体育の他の授業でも同じように協力しあっているのだと思っています。 ○いろいろ工夫を重ねている様子が伺える。体力づくりは一生の問題で有り運動が好きになることが肝心。「好きこそ物の上手なれ」の如く好きになる運動の導入も必要では？ ○運動の苦手な児童には、楽しく遊べることができるとよいと思います。 ○昼休みに運動場で遊んでいる姿は、大変いいです。

3 体力の向上	(2) 望ましい生活習慣の確立	①早寝・早起き・朝ごはんの推進（児童の意識調査95%以上）	＜児84、保74、教100＞ 9月の調査では「起床時刻を守る」が71%、「就寝時刻を守る」が58%、「朝食の摂取」が58%だったことを踏まえ指導や啓発をした結果、アンケート結果の肯定的評価が上がったと考えられる。これに気を抜くことなく、体力作りの基盤である早寝・早起き・朝ご飯の徹底を今後も続けていく。	2.5	2.5	○就寝時間を守ること、朝食の摂取ができていない児童が結構いるとのこと。健康のため朝食が一番重要ということとを、児童と保護者にもっと啓発を。 ○昨年同様意識調査95%は達成覚悟を。 ○児童より保護者の評価が厳しいのは、到達点の設定が児童と保護者で違っているせいなのかなと思います。親子で数値目標を設定して、結果を見てみると良いのかなと思います。家庭で話す時間も増えたうえに、指導もしたすいかと。 ○児童、保護者に努力不足の認識を見る。家庭での教育指導を強める必要があるのでは？ ○早寝・早起きができれば、朝食の時間もできると思います。 ○早起きできなくて、朝の登校に車で行く児童をたまに見かけます。 ○夜が遅いと朝も遅くなり、食事の時間がなくなると思う。家庭のしつけが大事です。
		②むし歯治療完治率80%以上	＜児60、保95、教80＞ 1月15日現在虫歯治療完治率61.5%（虫歯なしと完治合わせて16名）。目標には遠い状況である。いずれ抜けるとはいえ乳歯の虫歯は口内環境の悪化につながることや、早期治療が早期完治につながるなど、保護者への啓発や受診のお願いを続ける。	2	2	○歳を重ねるごとに、若い頃からもっと歯を大事にすればよかったと！自分の歯でしっかり食べられるのが、何よりの幸せです。虫歯菌で心臓に悪影響も及ぼします。ぜひ、早期発見、早期治療を！！ ○どうしてこうなった。率直な感想です。一昨年87.5%、昨年92.8%、から急落です。分母が小さいからやむを得ないところはあるのでしょうか。 ○毎年歯の治療率の低さは気になっています。保護者の忙しさ、市内に歯科医が少ないなどなど理由はあるとは思いますが、治療率が上がると良いですね。 ○市内の歯科医の減少で虫歯治療は困難になってきていると思うが、子供には早期治療が肝要であり家庭共々努力したい。 ○病院が近くにないので、保護者の負担が大変だと思いますが、もっと保護者への啓発を。 ○歯は、身体のいろいろなところに影響を与えていると言われてるので、大事にしてほしいです。 ○歯医者が怖いのではないかな。親が取り組むべきです。
	(3) 食育の充実	①弁当の日の充実（弁当づくり関わり率95%以上）	＜児92、保79、教100＞ 全員が何らかの形で弁当作りに関わっているようで、高く評価したい。家庭の協力があってこそその取組なので、大変感謝している。保護者にとっては、もっと積極的に取り組んでほしいとの願いからの低い評価と捉えている。	3	3.5	○保護者の評価が低いですね。朝の忙しさは誰しもありますが、お互いに愛情と感謝をもって大事な食（弁当作り）に接してもらいたいです。 ○もう少しで95%でした。「高く評価したい」の記述に自負を感じます。頑張ってください。 ○児童教師の自己評価は高くても、保護者から見るとまだまだ・・・と感じているのかな。保護者の見る目は厳しいですね。 ○もう少しのところに来ていると思える。保護者がもう一歩踏み込み共同作業的な進め方はどうだろうか？ ○食の大切さを感じている結果だと思います。 ○朝早く起きるのが、苦手なのでしょうか？
		①地域人財を活用した郷土学習・キャリア教育	＜児100、保95、教80＞ 田植えや稲刈り、棒踊り、本城子ども太鼓、グラウンドゴルフ指導など、たくさんの教育活動に地域人材の協力をいただき、大変感謝している。1月には鹿屋市にあるプロ自転車チームによるキャリア教育講演会を実施した。	4	4	○自分の子や孫でなくても、地域の人々は小学生のためならと、頑張っておられます。その姿を見て、児童たちも頑張っているのが素晴らしいです。 ○プロ集団等キャリア講演会を開く等の施策はよいと思う。保護者や地域にもその効果を拡散できればなお良いのでは。 ○高齢者にとっても学校との関わりを持てることは、生きがいに感じる方が多いと思います。また地域にとっても高齢者対策の重要な柱の一つにもなっています。これからもよろしくお願いいたします。 ○大変素晴らしい対応状況で、地域の人々も感謝している。今後も進めてもらいたい。 ○子どもと保護者の満足度を感じます。 ○いろいろな行事に積極的に参加して、大変素晴らしいことだと思います。 ○大変いいことです。地域にどんどん溶け込んでください。

4 地域との連携・協働		②地域への貢献活動	＜児100、保100、教100＞ 棒踊り、元気太鼓、アサギマダラの里づくり、老人ホーム訪問等に取り組んだ。児童は、自分も地域の一員であることを自覚しつつあり、積極的に取り組む姿が見られる。串間市民パレードには、中学生も自主的に参加するなど、これまでの指導や学習の積み重ねが結果として表れていると感じる。	4	4	○本当に地域の皆さんの色々な取り組みに、頭が下がります。同じく小学生に中学生も加わってのイベントなど、いい地域との印象が強いです。 ○地域への貢献→ひいては教師の地域との交わりの深耕、教師の安寧確保、児童の安心感に直結します。このままの姿勢で、これからも期待します。 ○伝統芸能の千野棒おどりの保存継承に学校を挙げて取り組んでいただき、ありがとうございます。串間市民パレードでの中学生の参加は本当にありがたかったです。また「アサギマダラの里作り」事業にも積極的に取り組んでいただき、ありがとうございます。 ○大変素晴らしい対応状況で、地域の人々も感謝している。今後も進めてもらいたい。 ○棒踊りでは卒業生や地域の方の協力で頑張っている姿が微笑ましかったです。 ○頼もしいです。 ○大変いいことです。地域にどんどん溶け込んでください。
		③学校の情報の発信	＜児96、保100、教100＞ 学校便りの発行、ホームページの更新など、計画的に行った。ホームページについては、さらに内容の充実を図り、閲覧数が増えるように宣伝をしていく。	4	4	○とても充実していて素晴らしいです。 ○県教委にはウェブデザイナーなど、もっと魅せるHPをつくるアドバイザー制度や人材はいないのでしょうか。ほぼどの学校のHPも同じです。 ○学校だよりをA3用紙にプリントして支所等に掲示されるなど、大変努力をされていると思います。 ○大変素晴らしい対応状況で、地域の人々も感謝している。今後も進めてもらいたい。 ○これからも発信、楽しみにしています。